

大阪府立春日丘高等学校 学校運営協議会（定時制部会）議事録

校名	府立春日丘高等学校
准校長名	下本 隆二

開催日時	令和 3年 2月 16日 (火) 18:00~19:50
開催場所	ウィステリアホール
出席者(委員)	中鹿 直樹会長、大西 哲委員、片岡 誠委員、長田 佳久委員 (欠席) 永野 浩二委員、野村 明仁委員
出席者(学校)	下本 隆二准校長、島田 一教頭、江菅 純一教諭、中村 充希教諭、西谷 陽子教諭
傍聴者	なし
協議資料	令和2年度学校経営計画、学校運営協議会実施要項改訂版、支援委員会の取り組み
備考	

議題等(次第順)
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 准校長挨拶</li> <li>2. 授業アンケートの分析結果について(教頭)</li> <li>3. 学校教育自己診断の分析結果について(教頭)</li> <li>4. 令和2年度学校評価(案)について(准校長)</li> <li>5. 令和3年度学校経営計画(案)について(准校長)</li> <li>6. 質疑応答</li> <li>7. 学校運営協議会からの提言</li> <li>8. 全日制部会の方針(令和3年度学校経営計画(案))について 次回の連絡</li> </ol>

協議内容・承認事項等(意見の概要)
<p>&lt;主な質問&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業アンケートの3・8・9(難易度や進む速さ、授業への興味関心、知識技能が身についた)では、否定的な回答がやや多いのが気になる。 ⇒ 丁寧な説明や少人数展開でフォローをしているが、理解力が様々で全員が満足できるようにするのは難しい。</li> <li>・授業アンケートの4(目標やポイントの説明)はポイントが高いが、授業の満足度が低いのはなぜか。 ⇒ 教員は映像を使うなど授業を工夫をしていると生徒の「知識技能が身についた」にはギャップがある。クロス集計をして分析していくことで明確になる。</li> <li>・教員の学校教育自己診断の准校長のリーダーシップの項目が下がっているのは、准校長への期待が高かったからではないか。むしろ、頑張っしてほしいという気持ちの裏返しであると思う。</li> <li>・出席率が上がっているのは、どういう要因か。 ⇒ 電話連絡だけでなく、行事など学校に来るように指導をしている。また、行事や授業前向きに学校生活をとらえている生徒が増えている。学校に来ることが中退率の低下につながっている。</li> </ul> <p>&lt;提言事項&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業アンケートや学校教育自己診断の結果について、クロス集計を取り入れて分析し、フィードバックして活用してはどうか。</li> <li>・コロナ禍の中、行事をほとんど中止することなく予定通り行えたことは高く評価する。</li> <li>・授業に関する評価の関連性がわかりにくい。項目について検討してはどうか。また、コロナ禍の影響があった結果なのか検証が必要。</li> <li>・来年度生徒に配付される1人1台のタブレット端末について、丁寧に使い方の研修を行ってほしい。</li> <li>・働き方改革について、年休は取れて当然だと考えるべきである。組織として100%取得できようように考える必要がある。</li> </ul> <p>&lt;承認事項&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度学校評価及び令和3年度学校経営計画について承認された。</li> <li>・全日制令和3年度学校経営計画(案)について承認された。</li> </ul>

次回の会議日程	
日時	令和3年 6月中旬~下旬 18:00~
会場	ウィステリアホール